

必修科目 I	研究倫理 Research Ethics	DM_2003	単位	1 単位
			区分	必修
科目責任者	園生 雅弘 教授 (神経内科)		授業形態	講義・演習

概要	ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言といった生命倫理と医の倫理に関する規範の意味やその歴史的流れをふまえながら、患者の基本的権利について理解する。真実の告知、インフォームド・コンセント、パターナリズム、死の受容、安楽死、尊厳死などの具体的問題に対して、事例を通じた討論を行う。さらに医師法や医療法といった関連する医事法制を整理し、守秘義務、応召義務、医学的無益性、医療資源の配分、メタ倫理といった様々な倫理的問題についても学ぶ。(公衆衛生学研究所「公衆衛生倫理学」一部合同授業)
到達目標	<b>【一般目標(GIO)】</b> 1. 保健医療の現場において意思決定を行う際に必要な医療倫理の基本的な知識・考え方を身に付ける。 2. 保健医療、公衆衛生領域における研究倫理について理解する。 <b>【行動目標(SBO)】</b> 1. 倫理的観点から対応が困難と想定される事例において、自分の考えを述べることができる。 2. 研究倫理についての基本的な知識に基づき、必要であれば研究倫理審査のための手続きをとることができる。
事前事後	<ul style="list-style-type: none"> <li>各回の授業内容で分からない専門用語があれば、次回までにその意味等を復習して理解しておくこと。</li> <li>当該期間に15時間以上の予復習が必要。</li> </ul>
評価方法	(1) 研究倫理eラーニングコース(e-Learning Course on Research Ethics: eLCoRE)の修了 (30%) (2) 講義ごとのワークや課題 (50%) (3) 講義での発言や議論 (20%) → 講義視聴システムで受講の場合は閲覧履歴および確認テストとする。 注意) 課題、レポートを再提出または期限に遅れて提出の場合は、原則として減点の対象とする。
教科書・参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤林 朗・児玉 聡 編 『入門・医療倫理III 公衆衛生倫理』 勁草書房 2015年</li> </ul>
履修上の注意事項	レポートに対し、提出後に講評等のフィードバックを行う。 この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。 No.7.eAPRIN (eラーニング) については、修了証を12月末までに事務部に提出のこと。
オフィスアワー	神経内科学講座 園生 雅弘 内線 (32652、7066)

No.	月日	時間	講義・演習タイトル	担当者	備考
※1	4/14(水)	15:10-16:40	医療・公衆衛生倫理学総論 医療倫理に関する歴史的背景を中心に、概略について学ぶ。	石川ひろの 教授 (公研)	大学棟本館 1階105教室
2	4/15(木)	18:20-19:50	医学研究の心得 —科学性と倫理—	安部良 特任教授 (先端総合研究機構)	〃
※3	4/21(水)	15:10-16:40	医療者・患者関係と医療倫理 医療者-患者関係モデルについて基礎的な知識を学び、具体的な事例検討を通して医療者・患者関係モデルを理解する。	瀧本禎之 講師(非) (公研)	〃
4	4/30(金)	18:20-19:50	動物実験と倫理	高瀬有加里 助教 (中央実験動物施設)	〃
※5	5/12(水)	15:10-16:40	医療倫理の四原則 患者の権利、インフォームドコンセントについて、その歴史的背景、法的根拠などについて学ぶ。	中澤栄輔 講師(非) (公研)	〃
※6	5/19(水)	15:10-16:40	医療倫理の四原則 患者の権利、インフォームドコンセントについて、その歴史的背景、法的根拠などについて学ぶ。	中澤栄輔 講師(非) (公研)	〃
※7	5/26(水)	15:10-16:40	研究倫理審査申請の実際 研究倫理審査書類の作成における注意点を学ぶ。APRIN eラーニングプログラム(eAPRIN)の説明と導入。	石川ひろの 教授 (公研)	〃
8	6/25(金)	18:20-19:50	研究者に求められる研究倫理	中西穂高 教授 (知的財産センター)	〃
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>※1、※3、※5～7は板橋キャンパス全研究科の大学院共通科目です。直接講義参加、又はeラーニングのいずれかで履修してください。</li> </ul>				

※講義日程の変更・追加の連絡等がある場合、登録されているメールアドレスに連絡します。